



個人の尊厳を守り、立憲主義回復と安保法制廃止を目指す市民の会

編集・発行 虹の会さんだ事務局 連絡先: 正木 tel.090-1589-2626
Blog▶http://rainbowsanda170422.hatenablog.com Twitter▶https://twitter.com/sandaniji17422



メチャクチャや!安倍さん、もう辞めなあかん!!

森友・加計疑惑は安倍さんの私的関係で便宜を図ったこと、みんな知ってまっせ。財務省の改ざん・隠ぺい・廃棄・虚偽答弁等の犯罪行為は、安倍さんのウソのつじつま合わせが発端。もうええ加減にして。安倍さん、“膿”は間違いなく政治私物化のあんたや!



これが一国の首相とは。党首討論での「小学生化」する安倍首相と麻生財務相。倫理崩壊の安倍政治に理性や知性は毛頭ない。

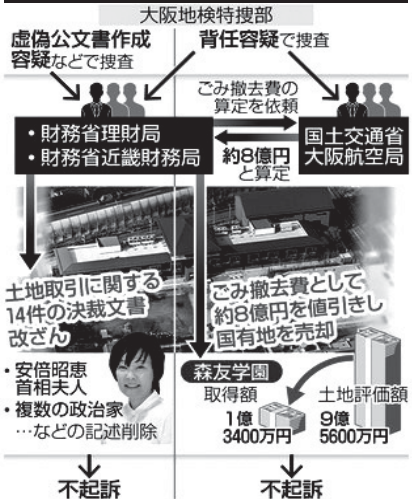
森友学園問題の経緯



佐川宣寿・元理財局長 豊中市小学校予定地での昭恵氏と籠池夫妻

- 13年6月28日 森友学園が大阪市豊中市の国有地の取得を検討していると近畿財務局に伝える
- 15年5月29日 学園への土地貸付合意(安倍首相・籠池氏は右派組織日本会議系)
- 9月5日 安倍首相の妻昭恵氏が学園の幼稚園で講演し、新設予定の小学校の名誉校長就任(教育勅語暗唱させる学校を支持)
- 11月10日 昭恵氏付の政府職員が、財務省理財局に学園との土地取引について照会(昭恵氏依頼でFAXと電話で照会)
- 16年3月11日 学園が「新たなごみが見つかった」と財務局に連絡
- 24日 学園が土地の購入を申し入れ
- 6月20日 ごみの撤去費8億1900万円などを値引き、1億3400万円ですべての購入を締結
- 17年2月9日 格安での売却役を朝日新聞が報道。2月下旬から4月に財務省が判決文書改ざん
- 17日 安倍首相が「私や妻が関係していれば、首相も国会議員も辞める」と国会答弁(このウソがウソを生む結果に)
- 24日 財務省の佐川宣寿理財局長(当時)が、学園との交渉記録を「廃棄した」と国会答弁
- 3月23日 学園の籠池泰典理事長(当時)が証人喚問で、土地取引について「神風が吹いた」と証言(昭恵氏関与で有利に)
- 7月31日 国から補助金を詐取したとして、大阪地検特捜部が詐欺容疑で籠池氏らを逮捕(口封じの違法な長期拘留継続)
- 11月22日 会計検査院が値引きの前提となつたごみの量の積算について「根拠が不十分」と指摘
- 18年3月2日 学園との土地取引に関する財務省の判決文書について、朝日新聞が書き換えの疑いがあると報道
- 9日 佐川氏が国税庁長官を辞任
- 12日 財務省が判決文書の改ざんを認める(書き換えを改ざんに訂正)
- 27日 佐川氏の証人喚問。「揭示訴訟の恐れがある」として証言拒否を連発
- 5月23日 財務省が学園との交渉記録を意図的に廃棄したと発表

森友学園・国有地売却の検察捜査



6月4日、森友学園への国有地払い下げに絡む公文書改ざん・交渉記録廃棄、国会虚偽答弁などについて財務省が内部調査結果を発表。不正行為は佐川元理財局長と財務省理財局の責任に転嫁。疑惑の核心の安倍首相の妻昭恵氏や、首相自身や麻生氏の関与はなかつたと結論づける内容で、国民の疑問に答えるものとは到底ありません。

偽資料提出で1年以上国会を騙した安部政権

財務省が、豊中市の国有地を8億円も値引きの安値で学園に払い下げ、問題が国会で追及されると、判決文書を改ざんし、交渉記録は廃棄したと虚偽答弁を繰り返して、実際

に廃棄。その動機は、佐川氏答弁との整合性や、国会で野党に追及材料を与えないためと説明、官邸のご都合優先で、国会軽視の本末転倒。国会の行政監視の役割を骨抜きにし、一年以上国会・国民を騙し続けた止に犯罪行為です。

国有地取得のポイント
首相夫人・昭恵氏関与!

森友学園との国有地取引の決裁文書では、安倍首相や昭恵氏、政治家の名前が全て削除。さらに、財務省が隠してきた交渉記録には、学園が昭恵氏に「優遇を受けられないか」と依頼し、昭恵氏付政府職員の谷氏が財務省に直接照会の記録も存在。ただ、難航交渉の転機の2014年4月28日の

昭恵氏関与の決定的な記録は提出されず、財務省の反省無き隠ぺいが疑われます。国有地取得は、籠池理事長の「神風が吹いた」の発言通り、昭恵氏存在が重要。この疑惑は「昭恵案件」だったわけです。

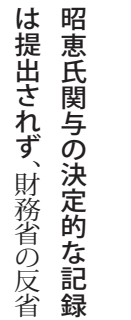
検察も忖度で不起訴!
麻生氏は居座り辞任せず

森友学園への国有地売却に関する決裁文書改ざんで大阪地検特捜部は5月31日、虚偽公文書作成容疑などで告発された当時の理財局長の佐川氏らを不起訴。売却価格が8億円余り値引きされた取引を巡る背任容疑についても、交渉時の理財局長の迫田氏らを不起訴。2017年2月17日に「私や妻が関係していれば、首相も国会議員も辞める」と答弁。国会議員も辞めると答弁。これも、その資格はありません。

このだけの不祥事と政治的混乱を起こすも責任を取らない安倍・麻生のご両人。麻生氏は財務相のまま、民主主義破壊の国民の信を失った首相も財務相も、その資格はありません。

の答弁から公文書改ざんなどの犯罪行為が行われたわけですが、これだけの証拠がありながら検察は起訴する気なし。近畿財務局の職員の方が自殺に追い込まれたにも関わらず!

安倍内閣の支持率と不支持率の推移



安倍内閣の支持率と不支持率の推移

安部政権の支持率は下げ止まりの不思議。政治私物化で妻共々ウソを付き、公文書改ざんの犯罪行為にも寛容な世論って何? 民主主義は不要なのでしょうか? (毎日新聞5月31日)

不起訴

不起訴

ウソばかり、こんな政治アカンやる！ 安部政権は退陣しかあらへんで！！



安倍首相と加計理事長、「腹心の友」。悪い冗談？政治私物化で親しい人間に便宜を図るという腐敗。獣医学部新設では愛媛県31億円、今治市62億円の巨費が加計に援助されます。これ全て税金！教学と経営の分離がない加計学園。理事長の権力は絶大で、しかも世襲制という驚き。

加計疑惑に新たな証拠と新聞赤旗や朝日新聞などが報道。先に公表された愛媛県文書の安倍首相と加計理事長の面談(2015年2月25日)の内容と同じものが、文科省に存在している事が判明。首相の加計学園の国家戦略特区での事業者決定は2017年1月20日まで知らなかったというウソがここでも明白に。当初から加計ありきです。

文科省に面会資料存在 愛媛県文書は本物！
愛媛県文書で2015年4月に愛媛県・今治市職員と面談記録で柳瀬首相秘書官のウソからバれた矢先、その前に疑惑の張本人の安倍首相と加計理事長の二人が獣医学部新設で首相官邸で会っていたという事実が県文書で明らかに。県だけでは無く、今治市にも伝えられ、市も認めています。ご丁寧にはそれは加計学園から県に伝えられたもので、首相は

「新しい獣医学部の考えはいいね」とお墨付きを与えている内容です。さらに新聞赤旗のスクープ(右写真)で、文科省にも同文書が存在することが判明。安倍首相も加計学園も面談の事実を否定していますが、その後の獣医学部新設の過程は、これらの文書に記された通りに進みます。どちらがウソを

も市も補助金停止すべきだが、何故かそうならない。県・市への謝罪で二件落着かと思っているから大間違いです。責任者の加計理事長自身が説明すべきですが、その気配すらありません。巨悪をこのままにしてはなりません。

首相の説明と愛媛県文書の食い違い (2015年3月3日の愛媛県文書の記述)

<加計学園と県の3月3日の会>
2/25(2月25日)に理事長が首相と面談(15分程度)。理事長から、今治市に設置予定の獣医学部では「国際水準の獣医学教育を目指す」と説明。首相からは「そういう新しい獣医学部の考えはいいね」とのコメントあり

↓その後訂正
(17年)1月20日の国家戦略特区諮問会議で知った(17年7月24日、衆院予算委)
(学園理事長から)相談や依頼は一切ない。具体的なことは一切話していない(18年4月11日、衆院予算委)

付いているかは言うまでもありません。獣医学部新設は、当初より「首相案件」だった訳です。
愛媛県にウソの報告？ 首相に見え見えの付度
加計学園は首相との面談が明らかになると、渡邊事務局長があればウソの発言だったと県に謝罪(5月31日)。加計の鉄面皮振りには最悪。「その場の雰囲気、を」と面談を否定。えっ？何と今更におバカな言い訳。首相の名を語って、県・市から補助金を得ていることは、明らかに犯罪。本来は県

政治は変えられる
実感できるのは今だ
付度という奇妙なウソが国会でまかり通り、その毒は拡大し、社会全体が規範を失っています。これを良しとする人はいないはず。安倍首相の政治私物化と、そのウソは連日報道されていますが、依然として安倍氏は権力の座にあります。理由は簡単！国民の約半数以上が無関心でいるからです。無関心は、政権に好都合は自明。政治はタブーではなく、国の行方に関与する人が一人でも多く集まることで、必ず安部政権は倒すことができます。政治への関与(投票・集会・デモ・SNS)は、身近なところで可能です。今こそ、政治は変えられるという実感を得る機会です。政治は国民のもの、この原則は不変です。

コストリカの奇跡

コストリカ共和国 ●人口490万人。面積は九州と四国を合わせた程の中米の国。写真のコスタリカのシンボルのアレナル火山。中米随一のエコツーリズムの国。

A BOLD PEACE 積極的平和国家のつくり方 『コストリカの奇跡』上映会開催

「コストリカは1948年に軍隊の廃止を宣言。軍事予算をゼロにし、予算を福祉や教育に充てることで、教育と医療の無料化を実現。地球幸福度指数は世界一です。紛争の絶えない中南米で、武力に頼ることなく平和を維持してきた同国の歴史を描くドキュメンタリー映画です。いま全国で自主上映され、大きな反響を呼んでいます。一方、平和憲法を持ちながら改憲と軍拡にはしる安部政権とは対照的。平和を考えるきっかけになるこの映画を是非鑑賞ください。

日時▼7月16日(月)祝 1回目 13時・2回目 15時・場所▼三田市総合福祉保健センター多目的ホール 協力金▼前売り800円・当日1000円・学生500円・障害者 無料 連絡先▼新納090-6204-14028 松岡090-9216-8226